



English version is [here](#)

Editors:Eric Kokish
Richard Colker
翻訳:小林京子

NEC杯決勝—新宿の決闘

第2クオーター

64ボードの決勝戦で16ボードが経過して、インドネシアが久富チームに42IMPのリード。54-42。

Bd: 17	NORTH
DLR: N	♠ QJ42
VUL: None	♥ 10876
	♦ K42
	♣ A6
WEST	EAST
♠ A1098	♠ 53
♥ J9	♥ AKQ532
♦ AJ853	♦ 96
♣ K3	♣ Q98
	SOUTH
	♠ K76
	♥ 4
	♦ Q107
	♣ J107542

Open Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Kokish	Abe	Colker	Chen
	Pass	1♥	Pass
2♦	Pass	2♥	Pass
2♠	Pass	2NT	Pass
3NT	All Pass		
Closed Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Hara	Lasut	Tatai	Manoppo
	Pass	1♥	Pass
2♦	Pass	2♥	Pass
2♠	Pass	2NT	Pass
3♥	Pass	4♥	All Pass

3NTは簡単に9トリックを勝つことができる。オープンルームのE(コルカー)はクラブのローカードのリードで10トリック目、おかしなエンドブレイで11トリック目を確保してプラス460。一方、4♥は3NTほど良いコントラクトではないが、ダウンをしたのは不運としか言いようがない。♣JのリードをQで勝ち、♠KをAに負ける。トランプシフトをAであがり、クラブを♥Jでラフ、♠A、スペードと続ける。スペードリターンをラフしたが、ダイヤモンドとトランプのルーザーが残り、1ダウン、マイナス50。インドネシアに11IMP、65-12。その後久富チームが5IMPを加えて65-17となる。

Bd: 20	NORTH
DLR: W	♠ K632
VUL: Both	♥ 9
	♦ 10976
	♣ K1042
WEST	EAST
♠ AQJ8	♠ 104
♥ KQ4	♥ 1086532
♦ Q2	♦ 853
♣ 9863	♣ Q5
	SOUTH
	♠ 975
	♥ AJ7
	♦ AKJ4
	♣ AJ7

Open Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Kokish	Abe	Colker	Chen
1NT	Pass	2♦(1)	2NT
All Pass			
(1) ハート、もしくは強いハンド			
Closed Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Hara	Lasut	Tatai	Manoppo
1NT	Pass	2♦(1)	DBL
2♥	3♦	Pass	3NT
All Pass			
(1) ハート			

3NTは若干強さが不足しているものの、最悪のコントラクトではない、Wに点数が集中していることがわかっている。S(マノッポ)はダイヤモンドのゲスを当てたもののクラブをはずし、スペード3トリック、ハートとクラブの各1トリックを負けて1ダウン、マイナス100。オープンルームのS(チェン)はWの♠Q、♣Jをダックしてスペードは1トリックも取れなかったが、クラブの振り込みでクラブを4トリックを勝ち、♦Qをたたき落として3メイク、プラス150。久富チームに6IMP、23-65。

Bd: 23	NORTH
DLR: S	♥ 109632
VUL: Both	♠ KQ10
	♦ 10942
	♣ A
WEST	EAST
♠ AK4	♠ Q5
♥ 6	♥ 987
♦ AKJ875	♦ Q6
♣ J75	♣ KQ10984
	SOUTH
	♠ J87
	♥ AJ5432
	♦ 3
	♣ 632

Open Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Kokish	Abe	Colker	Chen
3♦	4♥(2)	Pass	2♦(1)
DBL	Pass	5♣(1)	All Pass
(1) マルチ; (2) パス or コレクト (P/C)			
Closed Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Hara	Lasut	Tatai	Manoppo
1♣(1)	Pass	1♥(2)	Pass
3♦(3)	Pass	3NT	All Pass
(1) ハンド・タイプの特定なし (2) トランプ3枚以上、1ラウンド・フォーシング; (3) 通常1♦とオープン、3♦とリビッドするハンド			

クローズドルームではE(田多井)がハートをビッドしたが、S(マノッポ)は無視してハートをリードし、またたく間の3ダウン、マイナス300。一方のテーブルではS(陳)がバルネラルでマルチ2♦オープン、続くオークションはEWに軍配があがった。W(コキッシュ)のテイクアウトダブルに対して、E(コルカー)がスラムをビッドしなかったのは良い判断。ビディング・スペースが不足している。トランプリード、スペードシフトの後は12トリックを勝ち、プラス620。インドネシアに14IMP、79-14。

Bd: 24	NORTH
DLR: W	♠ AQ
VUL: None	♥ 9642
	♦ KJ3
	♣ A1086
WEST	EAST
♠ 7642	♠ KJ109
♥ AK7	♥ QJ108
♦ 1042	♦ Q98
♣ 972	♣ Q5
	SOUTH
	♠ 853
	♥ 53
	♦ A765
	♣ KJ43

Open Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Kokish	Abe	Colker	Chen
Pass	1NT	All Pass	
Closed Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Hara	Lasut	Tatai	Manoppo
Pass	1♦(1)	DBL	1NT
2♠	All Pass		
(1) プレジジョン、2枚以上			

オープンルームではウィーク1NTオープンが全員をシャットアウトし、勝利を収めた。♥J(ルジナウ)リードをWがKで勝ち、スペードのハイカードにシフト。N(阿部)はクラブのゲスはずすと2ダウンだが、ゲスを当てて2ダウン90。クローズドルームではEがオークションに参加するかは微妙なところだったが、W(原)が積極的に2♠をビッド。♦Jと♠Qの配置が良く、2メイクでプラス110。久富に5「チームJIMP、28-79。

Bd: 26	NORTH
DLR: E	♠ 7
VUL: Both	♥ A982
	♦ 73
	♣ A107542
WEST	EAST
♠ K2	♠ AJ954
♥ ---	♥ KJ1054
♦ KQJ1086	♦ A9
♣ QJ963	♣ K
	SOUTH
	♠ Q10863
	♥ Q763
	♦ 542
	♣ 8

Open Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Kokish	Abe	Colker	Chen
2♦(FG)	Pass	2♥	Pass
3♣	DBL	3♦	Pass
4♦	Pass	4♥	Pass
4♠	Pass	5♣	Pass
6♦	DBL	All Pass	
Closed Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Hara	Lasut	Tatai	Manoppo
2♦	Pass	1♠	Pass
2NT	Pass	2♥	Pass
3NT	All Pass	3♥	Pass

ダブルダミーならEWの3NTを選択するかもしれないが、コキッシュ・コルカーがビッドした6♦は可能性が全くないスラムではない(特にNがクラブの強さと長さを示していない時は)。Wの2回目のビッドは「当然」3♣か、2NTという選択がある。3♣はフォース・スーツだが直接的な情報は伝えない。NがWの3♣にダブルをかけると、次はEがビッドの選択を迫られる。3♦と3♥が考えられるが、各々異なる方向をめざすビッドであり、正しい進路をここで判断するのは難しい。3♦にWは3♣、もしくは3NTのビッドも考えられたが、3枚サポートがある時はダイヤモンドのコントラクトが魅力的であり、トランプを決定してキュービッド。Nが♠AKを頭とする長いクラブからハイカードをリードすれば、チャンスが膨らむとの期待もあった。しかし現実には厳しく、Nは6♦にダブルをかける。Nは、オークションからベストリードがトランプであると判断すればそれで終わりだったが、♥Aをリードしてディクレアラーを応援。ハートをラフして♠Aに負け、スペードシフトをハンドで勝ってクラブをハイラフ、トランプを集めてクレーム、プラス1540。クローズドルームではW(原)がスペードリードの後11トリックを勝ってプラス660。インドネシアに13IMP、92-29。

Bd: 28	NORTH
DLR: W	♠ QJ53
VUL: N/S	♥ Q1076
	♦ AJ72
	♣ 7
WEST	EAST
♠ K84	♠ A9762
♥ AK94	♥ 853
♦ K96	♦ Q
♣ Q94	♣ J865
	SOUTH
	♠ 10
	♥ J2
	♦ 108543
	♣ AK1032

Open Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Kokish	Abe	Colker	Chen
1♣	Pass	1♠	Pass
1NT(1)	Pass	3♣(2)	All Pass
(1) 15-18 HCP; (2) サインオフ			
Closed Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Hara	Lasut	Tatai	Manoppo
1♦(1)	Pass	2♥(2)	Pass
2♠	All Pass		
(1) 15-17 HCP, バランス (2) スペードへのへのトランスファー			

W(コキッシュ)の強い1NTリビッドをきいたE(コルカー)は2♠リビッドも考えられるが、パートナーのスペードがアナー・シングルトンで、クラブに長さを持っている場合(1♣は3枚以上を保証)はクラブの方が良いと判断。だが裏目に出て結果はマイナス150。2♠は楽勝のメイクでプラス110。久富チームに6IMP、35-94。

Bd: 29	NORTH
DLR: N	♠ 103
VUL: Both	♥ A976
	♦ Q
	♣ AKQJ65
WEST	EAST
♠ J9542	♠ AQ76
♥ 4	♥ J107
♦ A107542	♦ K863
♣ 8	♣ 107
	SOUTH
	♠ K8
	♥ KQ853
	♦ J9
	♣ 9432

Open Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Kokish	Abe	Colker	Chen
Pass	1♣(1)	Pass	1♥
Pass	2♥(2)	Pass	3♣(3)
Pass	4NT(4)	Pass	5♦(5)
Pass	6♥	All Pass	
(1) ストロンク; (2) トランプ・アスキング; (3) トップアナー2枚、5枚スート; (4) ♥のRKCB; (5) キーカード1枚もしくは4枚			
Closed Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Hara	Lasut	Tatai	Manoppo
Pass	1♣(1)	Pass	1♥
Pass	4♥(2)	All Pass	
(1) ストロンク; (2) ミニマム			

NSのオークションの間には中州が存在していたのだろうか。オープンルームのN(阿部)は、4NTがトランプ以外のキーカードをきくビッドであると理解したのか。そうでなければ彼のビッドの説明がつかない。W(コキッシュ)は♦Aをキャッシュし、オークションからスペードシフトがベストと判断して1ダウン、マイナス100。クローズドルームではS(マノッポ)がプラス650、インドネシアに13IMPの贈り物。107-35。

Bd: 30	NORTH
DLR: E	♠ 8
VUL: None	♥ A1096542
	♦ K87
	♣ A5
WEST	EAST
♠ AQJ106	♠ K
♥ Q73	♥ KJ8
♦ Q	♦ J109654
♣ Q986	♣ 1032
	SOUTH
	♠ 975432
	♥ ---
	♦ A32
	♣ KJ74

Open Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Kokish	Abe	Colker	Chen
Pass	3♥	Pass	3♣
Pass	4♥	All Pass	
Closed Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Hara	Lasut	Tatai	Manoppo
1♠	2♥	3♦	All Pass

オープンルーム、阿部の4♥はダイヤモンドリードで1ダウン、クローズドルームのE(田多井)は3♦をクラブリードで4ダウン、マイナス200。インドネシアに6IMP、113-35。

Bd: 32	NORTH
DLR: W	♥ A109654
VUL: E/W	♠ Q653
	♦ Q8
	♣ 5
WEST	EAST
♠ J3	♠ Q82
♥ J42	♥ AK9
♦ 974	♦ A6532
♣ KQJ43	♣ A10
	SOUTH
	♠ K7
	♥ 1087
	♦ KJ10
	♣ 98762

Open Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Kokish	Abe	Colker	Chen
Pass	2♦(1)	2NT	3♥(2)
3NT	All Pass		
(1) マルチ; (2) パス or コレクト			
Closed Room			
WEST	NORTH	EAST	SOUTH
Hara	Lasut	Tatai	Manoppo
Pass	Pass	1♦(1)	Pass
1♠(2)	Pass	3♦(3)	Pass
3♣(4)	Pass	3NT	All Pass
(1) 15-17 バランス; (2) リレー; (3) ♦5枚、17 HCP; (4) 3NTへのバベット			

クローズドルームのS(マノッポ)はWのハンドに関する情報がなく、♥8をリード。E(田多井)はダミーからローカードをプレイ、N(ラスート)も♥Qをプレイせず。♥9の勝ち。ダイヤモンドのローカードをQで勝ったNはスペードのローカードにシフトしてスペードをクリアしたが、これはEの9トリック目。プラス600。

一方のテーブルではN(阿部)がマルチ2♦オープン。S(陳)はパートナーがスペードを持っていると考え、♠K、スペードと続けた。NはAを勝ち、ハートのローカードにシフト。Eはローをプレイすればメイクするチャンスがあったが、Aであがり、ダイヤモンドをダック。Nは10をQでオーバーテイクし、再びハートのローカードをリード。EはKで勝ち、♠Qを続けた。Sは♥10ではなく、♥Qを持っていれば3つのスートでスクイズされていたのだが、幸いだった。♠Qに♥10をディスカードした。Eがハンドを透視できたなら、♦Aをキャッシュしてから♠A、♠10とプレイし、Sの♦Kにスローインしたに違いない。ダミーのクラブウィナーへ渡るステップビング・ストーンとなる。しかし、実際には♠Aの後は、♠10をオーバーテイクしたので1ダウン、マイナス100。久富チームが12IMPを獲得したものの、第2セッションは35-61と負け越し。

前半戦が終了し、インドネシアが115-47と68IMPリードした。

続く...[ここをクリック](#)